

「園芸導入事例」、「支援事業」、「研修案内」など紹介します

わたしも作ったよ!

—えだまめ編—

○園芸生産の拡大に向けて

阿賀野市では園芸の一層の振興を目指し、関係機関一体となり産地化に取り組んでいますが、更なる園芸生産拡大に向けて課題もあります。特に、担い手の高齢化により作付面積が減少傾向にあり、既存産地の維持拡大や新規生産者の確保が必要となっています。

今回は阿賀野市重点品目でもあり、栽培面積が拡大している枝豆を紹介します。

○えだまめ栽培の特徴

- ・病害虫の発生が少なく、細かい作業も必要ないので初心者にも取り組みやすい品目です。
- ・機械化体系ができており、水田を活用した大規模生産が可能です。
- ・「早生」「中生」「晩生」など品種が豊富で作期・作型が試みやすいです。



◆作業スケジュール(一例) ○:播種、△:定植、■:収穫

品目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
早生	○—△			■		
中生	○—△				■	
中晩生		○—△			■	
晩生			○—△			■

◆経営収支(露地10aあたり) ※労働経費を含まない

品目	販売額 (千円)	経費※ (千円)	所得 (千円)	労働時間 (時間)
えだまめ	310	214	96	64

参考:平成20年度新潟県経営指標より

～栽培農家の声～

定年を迎え時間に余裕ができ、近所に教わる人もいたので栽培を始めた。また、作物を育てる事にやりがいや、おもしろみを感じて取り組んだ。

機械が無いので出荷作業(収穫・選別・調整)するのに時間がかかったが、品種を組み合わせることで作業分散をしたので、特に苦労はなかった。除草剤は使用しなくなかったので、畝にはマルチ、通路には古くなったビニールを敷いて工夫した。

分からないところは近所の人に教わったり、JAから指導をもらった。



○園芸関連支援事業紹介○

県・市で策定されている園芸に係る支援事業です。利用するにはお問い合わせをお願いいたします。

◆新潟県農林水産業総合振興事業 園芸生産促進（事業計画年度：H24～）

- ★野菜・果樹・花きの生産拡大に必要なパイプハウス、機械、附帯設備など、様々な施設・機械を支援できます。但し、要件がありますのでご相談ください。
- ・事業概要：リース方式による認定農業者等への園芸用パイプハウス、園芸施設・機械等の整備支援
- ・事業主体：農業協同組合、第3セクター、民間リース会社（借受者：認定農業者等）
- ・助成内容：【施設】
一般地域4.5/10以内、中山間地域5/10以内
【機械】
一般地域3/10以内、中山間地域1/3以内

1戸の農家でも取り組む
ことが可能です！

今年度、上記の県単事業（園芸生産促進）に2名の農家取り組みます。

（導入品目→ミニトマト、いちじく、小松菜）

併せて、市でも県単事業に関連する支援事業を行っています。（下記参照）

次年度に向けて規模拡大に必要な機械や施設園芸導入を考えている方はご相談ください。

◆施設園芸生産拡大支援事業（事業計画年度：H30～H32）

- ・事業概要：県単（園芸生産促進）事業を活用して園芸施設を整備又は借り受ける農業者に対し、経費の一部を助成する。
- ・助成内容：【生産組織・法人】
助成内容：施設整備を行う場合、その補助残の1/2以内を助成する。
【個人農家】
助成内容：県単事業を活用した施設の借受者となる場合、リース料又は利用料の1/2以内を助成する。
- ・補助期間：5年間とする。

◆園芸産地化支援事業（事業計画年度：H27～H32）

- ・事業概要：カリフラワーの産地化を目指すため、栽培農家等に対し、種苗費等の経費を支援する。
- ・対象品目：カリフラワー
- ・補助対象：カリフラワーの栽培に係る種苗費や肥料費等の生産資材、及びダンボール等の出荷資材費の1/2以内を支援する。
（栽培面積1a当たり2,500円の支援、上限額25,000円）
- ・要件：JA 南部予冷センターに出荷
- ・注意事項：3年間補助金を受けた農業者は対象となりません。

★JA・農林課・普及センターでは、様々な品目の栽培指導や支援を行うなど、園芸生産をサポートしています。ご興味がある方は下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】○JA北蒲みなみ 営農センター（樋口・五十嵐） TEL62-2235
○JAささかみ 本所営農課（石山・早川） TEL25-7252
○新発田農業普及指導センター（野菜） TEL0254-26-9126
〃（花・果樹） TEL0254-26-9155
○阿賀野市農林課農林振興係（直通） TEL61-2478